

# 大宜味村 NPO法人おおぎみまるとツーリズム協会

交流  
部門

## 人と自然と文化が響きあう大宜味村のふるさとづくり (令和7年度認定)



NPO法人おおぎみまるとツーリズム協会は教育民泊旅行やインバウンド受入を行う団体で、大宜味村の特徴である健康長寿と緑豊かな自然環境を活かし、農業体験、農家生活体験、自然体験、文化体験を組み込んだ「大宜味型体験・滞在・交流プログラム」を展開するなど、人・自然・文化を資源とした特色ある持続可能な地域づくりに貢献している。

教育旅行民泊の受入状況は、平成23年から令和6年度までのやんばる3村での受入延べ人数、約14万人に達し、令和6年度におけるやんばる3村での受入人数は約1.7万人のうち、大宜味村での受入人数は約1.2万人とやんばる3村全体の約65%を占めている。令和4年度からやんばる民泊予約センターが設立され、総合窓口を一本化し、その事務局を当協会が担っており、やんばる3村共同で教育旅行民泊の受入体制を構築している。

このことから、従来の教育旅行民泊を軸とした受入れに加え、新たにブルーゾーン地域としての特性を活かした大宜味村ならではの交流体験をとおして、都市と農村の交流を積極的に展開し、若年層の地域定着にも繋がっているほか、ガイド、農家のモチベーションアップと資質向上の為に各種勉強会・研修会等を積極的に行うなど、農山漁村の活性化に寄与していると認められる団体として、「沖縄、ふるさと百選」の交流部門に認定された。



教育旅行民泊 農業体験



受入先でのだんらんの様子



離村式



喜如嘉の芭蕉布 着付け体験



若年層インストラクターの活躍



沖縄料理勉強会